

# 一般財団法人 兵庫労働者福祉基金協会

## 事業計画書

2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

### 1. 基本方針

当協会は、公益法人制度改革に伴い『一般財団法人兵庫労働者福祉基金協会』として、2011年4月に再スタートしました。

当協会の財政状態は、一般財団法人への移行に伴い、預金利息、出資配当金に対する源泉所得税が課税されるとともに、2013年から実施された復興特別税の導入、2014年4月から実施された消費税増税、長期にわたる超低金利政策などにより収入増加が見込まれない状況が続いています。さらに、近畿労働金庫の会員還元策の見直しに伴い、今年度から出資配当率の引下げが実施されるなど、取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いています。

また、2017年11月に近畿労働金庫神戸支店事務所が神戸ハーバーランドに移転したことに伴い、当協会も2018年3月に兵庫勤労福祉センターに移転することとなりました。

このような状況下ではありますが、当協会には勤労市民の福祉向上に寄与するという役割がより一層求められていることから、これまで同様の事業を継続推進することを確認します。

事業推進では、高齢社会への貢献、福祉活動支援など、兵庫県労働者福祉協議会・近畿労働金庫・全労済等がすすめる地域福祉活動との整合を図り、福祉事業団体との連携を強め、社会的役割を果たしていきたいと考えます。

予算的には、事業の持続性を確保する観点から、引き続き経費削減の見直し作業を継続します。

2018年6月には、兵庫労働者福祉基金協会発足30周年を迎えることとなり、一つの節目として関連団体をはじめ、一般財団法人移行後の歴代役員、事業関係者を招き懇談会を開催します。

### 2. 事業活動

#### (1) 2018年 ろうきん秋の音楽祭の開催

「ろうきん秋の音楽祭」は、「暮らしに潤いを、人生に喜びを」スローガンに掲げ、勤労市民に良質の音楽芸術に親しむ機会を安価に提供し、ゆとりと潤いの生活環境を生み出すことを目的に開催します。

来場者からは、「千円コンサート」として認知され、低廉かつ質が高いという評価を毎回得ており、勤労者とその家族の間に確実に根づいています。

また、有能な若手演奏家を育てる役割も果たしています。

前年度は、神戸市室内合奏団と神戸市混声合唱団による演奏と歌のコラボレーション企画を用意し、参加者の減少傾向に一定の歯止めをかけるとともに、兵庫県立芸術文化センター、姫路キャスパホール、神戸市立神戸文化ホールの3会場で開催し、多くの地域の方にご来場いただき好評を得ました。

出演者は、例年どおり公益財団法人神戸市民文化振興財団演奏部とする予定です。同公益財団との連携を強化したうえで、より幅広い音楽愛好者に来場してもらえるよう企画内容の工夫に取り組みます。

今年度は、当協会発足30周年記念企画として、公益財団法人神戸市民文化振興財団演奏部が主催するコンサートの招待券プレゼントを実施します（各会場で10組、60名の規模）。

① 神戸地区

開催日 2018年11月19日（月）  
開催場所 神戸文化ホール（中ホール・708席）

② 阪神地区

開催日 2018年11月20日（火）  
開催場所 兵庫県立芸術文化センター（小ホール・417席）

③ 姫路地区

開催日 2018年11月21日（水）  
開催場所 姫路キャスパホール（331席）

## （2）第30回 ろうきん公募写真展の開催

「ろうきん公募写真展」は、県内のアマチュア写真愛好家の間に作品発表の場として広く定着し、応募者数も年々増加しています。

今年度の統一テーマは『たのしい兵庫』とし、兵庫県内のすばらしい自然や景観、伝統的な行事や風物、また、人々の触れあう祭り、暮らしの様子など、写真を通して広く県民に紹介していきます。

作品応募期間は8月から10月末まで、11月に審査選考会で76点を入賞作品として決定し、12月には応募者全員に結果報告を行うとともに、展示会（会場：こうべまちづくり会館地下ギャラリー）を2019年1月25日（金）～1月29日（火）まで開催します。

## （3）こうべもとまちハートミュージアムへの協賛

「こうべもとまちハートミュージアム」は、2004年3月に神戸元町商店街で開催された「エイブル・アート近畿2004」の流れを継承しながら、阪神・淡路大震災10

年を契機として企画・開催されました。

地元の障がい者の個性豊かなアート作品や、温かみのある作業所グッズ販売で神戸元町商店街を彩り、より兵庫の地に根ざした、障がい者美術・作品の発表の場にしようという企画内容で行われてきました。

これまでの活動により、障がい者の作品創作意欲を高め、鑑賞した人たちへの感動と共生の場を提供し、障がい者や高齢者などとの共生社会の実現に向けて一定の成果を上げることができました。

一方で、近畿労働金庫などの福祉事業団体の協賛撤退により厳しい財政状況にあるため、予算面では規模を縮小した活動を継続するとともに、自治体等への助成金の要請等を行い、本年6月に実施することを決定しました。

当協会は、本年度も実行委員会へ参画するとともに、協賛金の支出を実施します。

#### (4) 第32回 ろうきん杯学童軟式野球大会兵庫県決勝大会の開催

「ろうきん杯学童軟式野球大会兵庫県決勝大会」は、青少年の健全な精神と健康な身体の育成を通じ、広く地域社会へ奉仕することを目的として開催されています。

決勝大会では、県下の各地区予選を勝ち抜いた代表によって熱戦が繰り広げられます。今年度は北播磨地区がその舞台となり、8月4日(土)・5日(日)・11日(土)の開催予定となります。

当協会では、兵庫県軟式野球連盟と綿密な協議を行うとともに、協賛金の支出、優勝旗・優勝杯・賞状・メダル等の授与、理事長あいさつなどを行います。

### 3. 法人管理業務

#### (1) 理事会の開催

予算審議の理事会を3月、決算承認の理事会を6月、その他必要に応じて臨時理事会を開催します。

#### (2) 評議員会の開催

決算承認および役員選任のための定時評議員会を6月に開催します。

#### (3) その他

事業の持続性を確保する観点から、また、収入の増加が見込めないことから、収支の改善を図り、事業の整理縮小、経費削減などの見直し作業を引き続き継続します。

今年度、発足30周年を迎えるに当たり一つの節目として、関連団体をはじめ一般財団法人移行後の歴代役員、事業関係者を招き6月5日に懇談会を開催します。

以上